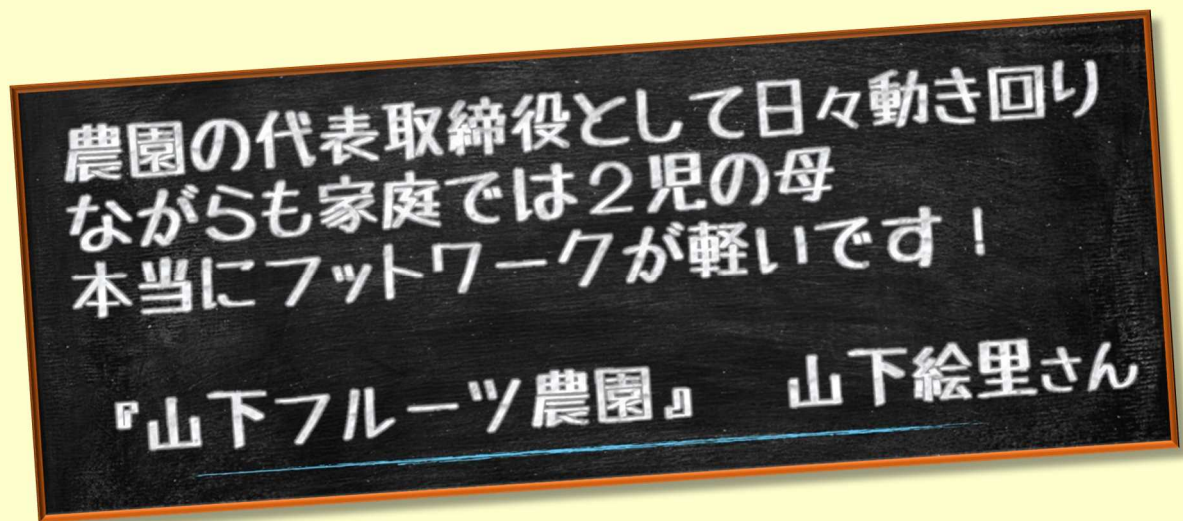




こんにちは、マッキーです！

令和2年度に引き続き、コロナ禍でなかなか取材ができない日々が続いており、

令和3年度も半年が過ぎてしまいました

今年度第一弾は、飯綱町に嫁ぎ農園の代表をしている「山下絵里さん」です

毎日忙しく動き回っている絵里さんに、山下フルーツ農園が経営している

「Cafe 傳之丞」でお話を伺いました



それでは家族構成から教えてください。

私と夫、子供2人の4人家族です。

Cafe 傳之丞（でんのじょう）の事業は義理の妹が運営し、会社へは役員として参加しています。

絵里さんのご出身はどちらですか？

新潟県新潟市です。

ご実家で農業はされていますか？

していません。

こちらに嫁がれて農業を始めたんですね。

そうなんです。結婚する前は1年間ワーキングホリデーでフランスに行っていました。元々ハーブが好きだったので、ハーブに関わることをやりたいなと思って。

現地の農家さんの所で（※）WWOOF（ウーフ）という制度を活用していました。簡単に言うと、住み込みで働いて労働力を提供する代わりに、食べ物と住む場所（食住）を提供してもらうという形で1ヶ月くらいごとに色々なところへ移動して働いていました。

（※）WWOOF（ウーフ）制度・・・農業体験と交流のNGO。1971年にロンドンで設立され、その後多くの国に広まる。金銭のやりとりなしで、「労働力」と「食事とベッド」を交換する仕組み。環境を大事にする人たちや、自然が豊かに残っている場所、または人と人との交流を大切にしているところと、農業体験をしてみたい人たちとをつないでいる。

行動力がすごいですね！

生きていかなければならないので何とかになりました。

なぜフランスだったのですか？

元々会社員で仕事をするのは3年を区切りにしようと考えていた時に「いったん休止して違うことをやってみよう」と思って、自分は何が好きかなと掘り下げてみたんです。

ハーブが好きなのでハーブに関われることをやってみたいなというのと、外国に住んでみたかったというのもあって1年位行ってみようと考え、ワーキングホリデーのビザが取れたのでフランスに行きました。周りの反応は様々で、「いいね！」と言う人もいれば、「辞めてこの先どうするの？」と言う人もいましたね。



夫とは大学（工学部）の同級生でその頃から付き合い始めていますが、フランスへ行くときも反対はされなくて。「行かないでくれ！」とも全く言われなくて（笑）。

私は大学院を修了して東京の企業に就職しシステムエンジニアとして働き、夫は父親が当時社長をしていた「アップルファームさみず」というりんごの販売会社の取引先へ研修という形で、流通や品質管理を学び、その後知り合いの農業生産法人などを回り、実家に戻ってきました。

ご実家が隣の新潟県ということですが、飯綱町に来られた時の町のイメージは？

来た当初は自然が多いと感じました。それから当たり前のことなのですが、日が昇ったら起きて日が沈んだら寝る！というのが素晴らしいなと思いました。

「当たり前の生活」って特に都会にいととなかなかできないのかもしれないですね。のどかですもんね。

のどかですね～！空が近いのと、虹がすぐ出るんですよ。こちらに移住してきた人たちは「虹よく出るよね」って話しています。

飯綱町のおすすめスポットはありますか？

やっぱりここですかね！

そうですね！Cafe 傳之丞さんですね！

子育て・家事・お仕事を両立する中で何が大変ですか？

子育てでいうと義理の両親がいないと、この生活は成り立たないですね。特に忙しい時期は！下の子が1歳になる前には仕事に復帰しているので、授乳するために家に戻ったりはしていましたけれど。お昼ご飯はお義母さんに作ってもらっているのですが義父母がいないと本当に成り立たないですし仕事ができな

いです。

そうですね。ご家族の協力があってこそ両立できているってことですね。

そうですね。

絵里さん、お料理は好きですか？

好きではないです。料理をお義母さんをお願いしているのはストレス解消かもしれないです。嫌なことはやらない（笑）



絵里さんが農園に嫁いで代表になられた経緯を教えてください。

お義父さんが65歳になったら引退すると決めた2年前位に結婚をしたんです。その2年の間に今後どういう風にやっていくか決めました。



当時「アップルファームさみず」は義父が代表をやっていたんです。

町の若い就農者が減っていく中でどうしても地域として「この環境を守っていかなくゃいけないよね」ということもあって、夫とも話をして「アップルファームさみず」は色んな生産者に出荷していただき、深く関わっていることもあって、会社と切り離して法人化しようということになったんです。

そこで、生産の部分は夫がやるから、営業や販売は私にやって欲しいということで私が代表になって、お義母さんが取締役という形で法人化したんです。

「山下フルーツ農園」という会社は山下さんが新規に設立した会社なのですね。

はいそうです。元々、農家民宿は山下家の事業として義母がやっていましたので、それも法人の事業に入れようということで、農家民宿と農園という形で法人化をしました。

法人化を選んだ理由としては、雇用の部分が大きくて、季節雇用ではなく、社員として年間雇用して生活基盤をしっかりとさせたかったんです。

「アップルファームさみず」はご主人が継承して、すべて経営移譲されたのですね。

そうですね。今は義父が会長、夫が社長です。

通年雇用として考えたというのは素晴らしいですね。

地域的にこの飯綱町にいたいけれど仕事がないから隣の長野市に行っちゃうとか、そのまま結婚して長野市に家を建てたりしてこちらを出てしまう人が多くて、農業だとなかなか収入の安定がないので継げないとか、畑に出て仕事をするのは好きだけど販売とか営業、経理などは難しいとか。



農家って、すべてやらなければならぬので。そういう人には、そういった部分は私たちがやります、その代わり畑の仕事はやってくださいねということができるようにしたかったというのもあって法人という形を選びました。

ちゃんと飯綱町のことも考えているってことですよね。

これからも新しい就農者はなかなか増えてこないと思いますけれど。

雇用拡大で地域活性化に一役を担っていただいています、通年にある仕事はなんですか？

そうですね。ただやっぱり冬場は仕事が少ないので、人によっては季節雇用として取らざるを得ないという方もいます。出荷自体は年明けまであるので箱詰め作業などの出荷作業があります。

それから最近は温暖化により雪が少ないので、早い時期からりんごの剪定ができるようにはなっています。冬場は労働時間を短くして、秋のこの時期は長くしたりと調整しています。



従業員の方は何人いらっしゃるのですか？

社員が2名、通年のパートさんが5名、季節的に来ていただいているパートさんが5～6名います。

皆さん女性ですか？

社員と通年のパートさんはみんな女性です。季節的に入ってくるパートさんは女性1人と、リタイア世代の男性、あと昨年くらいから外国へワーキングに行っていたんだけどコロナで行かれなくなってしまい、取りあえずは日本でお金を貯めるために働きに来る若い男性もいます。

また昨年いらした方は、普段は山小屋で働いていてコロナで山小屋が閉まってしまい仕事を求めてここに来た方がいたりとか。一人来ると芋づる式に来てくれて！でも毎年どうなるかって不安です。今まで何とか乗り切れている感じですね。

今、人件費も上がっているの。農産物はすぐ価格を上げたり、ドカンと上げるっていうのが難しく、農産物の価格はすぐニュースにも取り上げられてしまい…。食料品以外はほとんど価格が上がっているのに…というジレンマは感じます。

でも安定した販売先があるのはいいですね。

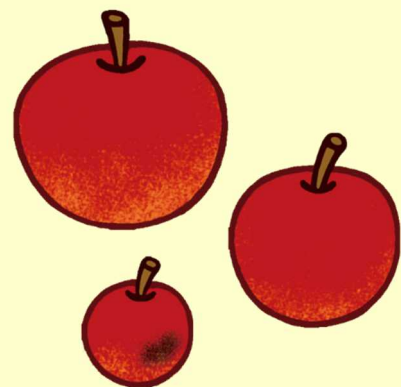
市場に左右されない部分はありがたいですね。

ほぼ契約なのですか？

そうですね、ほとんど契約みたいなものです。

農業は天気次第だから大変ですね。自然相手だから自分の力ではどうしようもないことっていっぱいありますよね。今年も遅霜で県内でも結構被害がありましたけれど大丈夫でしたか？

ありましたね。今収穫しているりんごもだいぶ収量が落ちていて影響は大きいですね。



りんごを作っていて感じることは、自然災害もありますが農業を辞めてしまう方が多いことです。でも全体的にりんごの需要はそんなに減っていないんです。生産者は減っているのに。果樹は1年や2年でできるものではないし、後継者は減っているし。



樹園地は顕著ですね。荒廃しないように樹園地を引き継いでいくことが大事ですね。この辺の樹園地も引き受けているのですか？
引き受けています。義父から引き継いだ年から4年位で倍になりました。後継ぎがないという方が多くて。

荒らさないように継承していただいているんですね。そうするとまた人手が必要ですね。面積はどの位ありますか？

今は6ha 位あります。結構、改植もしているので成園だと5ha 位になるかと思います。果樹支援対策や農の雇用事業も使わせていただいています。

りんご以外には他に何か作っていますか？

9割位がりんごで、あとは桃を0.8ha 位とお米を1ha 作っていますね。ブルーベリーやプラム、ぶどうも少し作っています。

その果物を、こちらの Cafe 傳之丞さんで使っているんですね。

はい、そうです。



絵里さんの大まかな1日の作業内容を教えてください。

最近専ら出荷作業をしていることが多いので、朝9時位から17時位までやっていて、その合間に事務所に戻ってメールなどの対応をしています。出荷作業が始まる前の時間帯は、受注の対応や帳簿の整理、見積もり作業などの事務作業をしています。パソコン作業はどちらかというと苦ではないですね。

農水省予算の女性の活躍推進対策事業「地域で女性が働きやすい環境の整備」で選定されましたよね。何を整備される予定ですか？

休憩棟が元々あってトイレと新しい設備を増築する予定で進めています。今も男性の小用と女性用のトイレはあるのですが男女共用になっているので、男女別トイレに整備する予定です。今は女性用で使える補助事業が多いかなと感じています。

今後、新たに始めたい事や夢などがありますか？

農家って気軽に遊びに来られるような感じではないですね。

でも食べ物を作っているところとすれば大事なところだと思うんです。そういうところでカフェや民宿をやって気軽に来られる場所を提供して、ここで経験してもらったこと、「こういうところでりんごが作られているんだ」とか、「自然環境や食べ物って大事だな」ということを感じてもらえるきっかけ作りや提供の場所になればいいなあと。

そうすることで消費行動が少し変わってくるんじゃないかなと思っています。

それから農業を基軸にした新しいことや面白いことをやっていきたいです！

環境や自然、食べ物の大切さを知ってほしいというのを常日頃思っていて、そういうことを基軸にいろんな人来てもらって楽しいことをやっていきたいなと思っています！



お忙しい絵里さんですが、妥協せず一つ一つを丁寧にこなしていく姿がとても印象的でした

「育児や家事は家族の協力あってこそ！」と話されていたように、ご家族も絵里さんをサポートし、みんなで協力し合いながら生活されている山下家に感動するとともに、周りのサポートが必要不可欠であることを感じました

とてもフットワークが軽くて、ご家族や従業員の方にとっても頼もしい存在の絵里さん
これからも美味しいフルーツを飯綱町から届けてくださいね！
今後も色々な場面での活躍を期待しています！！



マッキーがおじゃまします！
関東農政局長野県拠点

